# 議　　事　　録

| | | | |
|---|---|---|---|
| 業務件名 | 須崎市公共下水道施設等運営事業 | | |
| 日　　時 | 令和 4 年 11 月 1 日（火） | 自　13：30　～　至　14：30 | |
| 出席者 | 須崎市建設課　5 名 | | |
| | 須崎市環境保全課　2 名 | | |
| | 須崎市農林水産課　2 名 | | |
| | （株）クリンパートナーズ須崎（以下 CPS）　6 名 | | |
| 打合せ場所 | 須崎市役所 | 記録作成者 | CPS |
| 資料 | ・令和 4 年 9 月度すさき家パートナー会議資料（CPS） | | |

| 打合せ事項、対策・合意事項等 |
|---|
| 令和 4 年 9 月度すさき家パートナー会議 |
| 1.出席者を確認した。 |
| |
| 2.今月のセルフモニタリングのチェック項番について |
| ・9 月度に確認すべきチェックリスト項番を確認した。 |
| |
| 3.経営に関する業務 |
| ・9 月度の財務状況を確認した。 |
| ・9/15 任意事業にて、市役所敷地内の既設汚水マンホール 1 箇所を災害時にマンホールトイレとして使用するため、該当のマンホール蓋を「災害用トイレ」と記載のある蓋への取り替えを確認した。 |
| ・テントや便座等の上部備品及び災害時用ポータブル電源の市への寄贈式を 11/30 に予定していることを確認した。 |
| ・9/16 東京都小笠原村の建設水道課及び同村処理施設の維持管理会社が DHS 施設の見学のため来所。須崎市建設課、CPS 及び三機工業にて施設説明やコンセッション事業説明を確認した。 |
| |
| 4.汚水管渠 |
| ・9 月は日降水量 100mm を超えた日がなく、大雨後の巡視は実施していないことを確認した。 |
| ・道路陥没リスク及びその他面整備管渠について、14 人孔の巡視・点検を行ったことを確認した。 |
| ・路面状況やマンホール本体及び管渠の劣化が見られたが、緊急を要する異状は見られなかったことを確認した。 |
| |
| 5.雨水管渠 |
| ・9 月は圧力マンホール蓋の巡視は行っていないことを確認した。　（次項へ続く） |

| 打合せ事項、対策・合意事項等 |
| --- |
| ・須崎西部排水区 14 人孔の点検を行い、経年劣化が見られたが、緊急を要する異状はなかったことを確認した。 |
| ・6-R45 人孔の下流管内に占用物（鋳鉄管）が見られ、不要であれば撤去の検討が必要であることを確認した。 |
| |
| 6.終末処理場 |
| ・9/19 の流入水量が非常に多い事については、降雨量との相関関係が弱く、大口水道利用者による一時的な排水量の増加と推察（市役所の夜間待機など）されることを確認した。 |
| |
| ・処理水質は全項目で基準値を満足する結果であったことを確認した。 |
| ・法定水質試験（年 2 回 1 回目）結果においても、全項目で基準値を満足していたことを確認した。 |
| ・9 月は、脱水ケーキ 2,964kg が発生、住友大阪セメントへの搬出はなかったことを確認した。 |
| ・9 月は、18 日 19:24 瞬停、19 日 6:59 停電に伴い、緊急対応を行った。どちらも復旧後異常なし。台風 14 号の影響により、給電が不安定であったことが停電の原因と考えられる。以上確認。 |
| ・9/14 DHS 水質測定器 DO 計の交換修繕を実施し、機能異常から復旧したことを確認した。 |
| ・修繕推奨の汚泥供給ポンプ分解整備を 10/5 に完了したことを確認した。 |
| |
| 7.クリーンセンター横浪 |
| ・9 月の降水量は 8 月に比べて増加したため、月間を通してほぼ処理能力いっぱいの運転であったことを確認した。 |
| ・放流水質は全項目で基準値を満足する結果であったことを確認した。 |
| ・リサイクルプラザ 火災の被害を受けた電気設備の復旧工事が 10/17 から行われており、10/31 に破砕機の試運転が実施された。本稼働は、11 月末頃の予定であることを確認した。 |
| ・リサイクルプラザ 空気圧縮機及びエアドライヤーの修繕が 10/31 に完了したことを確認した。 |
| ・浸出水処理施設 9 月の緊急対応はなかったことを確認した。 |
| ・浸出水処理施設 場内 6 箇所の pH 計の老朽化が顕著であるため、故障前の順次交換の推奨を確認した。 |
| |
| 8.漁業集落排水処理施設 |
| ・5 地区の対象施設について、9/10,24 に点検を行ったことを確認した。 |
| ・9/26 中ノ島処理施設に隣接する水洗い場の水栓取替を確認した。 |
| ・池ノ浦処理施設の操作電源ブレーカー自動通報装置及び戸島中継ポンプの見積り取得中であることを確認した。 |
| |
| 9.雨水ポンプ場 |
| ・9 月は点検計画の通り、各機場の月点検、週点検及び補機点検を行ったことを確認した。 |
| ・各機場の燃料貯蔵状況について確認した。 |
| ・須崎ポンプ場と西部ポンプ場の沈砂掻揚機は停止中であることを確認した。 |
| ・10/6 各機場の消火器設備の交換が完了したことを確認した。 |
| |
| （次項へ続く） |

| 打合せ事項、対策・合意事項等 |
| --- |
| 10. その他連絡確認事項 |
| ・次回すさき家パートナー会議の日程案について確認した。 |
| |
| （以上） |
| |

# 須崎市公共下水道施設等運営事業

# すさき家パートナー会議資料

(令和４年９月度)

令和４年11月１日

株式会社クリンパートナーズ須崎

【　目　次　】

1　出席者 ..... 1
2　開催場所、日時 ..... 1
3　セルフモニタリングについて ..... 2
4　経営のモニタリング結果（令和 4 年 9 月度） ..... 3
4.1　財務管理 ..... 3
4.2　内部統制 ..... 3
4.3　情報公開 ..... 3
4.4　その他 ..... 3
5　維持管理のモニタリング結果（令和年 9 月度） ..... 4
5.1　汚水管渠 ..... 4
5.2　雨水管渠 ..... 10
5.3　終末処理場 ..... 16
5.4　クリーンセンター横浪 ..... 21
5.5　漁業集落排水処理施設 ..... 25
5.6　雨水ポンプ場 ..... 27
6　その他連絡事項 ..... 29

## 1 出席者

| 団体 | 所属 | 出席者 |
|---|---|---|
| 須崎市 | 建設課 | 5 名 |
| | 環境保全課 | 2 名 |
| | 農林水産課 | 2 名 |
| 株式会社クリンパートナーズ須崎（CPS） | 取締役 | 1 名 |
| | 企画管理部<br>調査計画部 | 2 名 |
| | 施設管理部 | 3 名 |

## 2 開催場所、日時

場所：須崎市役所　会議室

日時：令和 4 年 11 月 1 日（火）13 時 30 分～

## 3 セルフモニタリングについて

今月の CPS によるセルフモニタリングは、主に以下の内容について行った。
(9 月度の確認チェックリストは末尾に添付)
また、10/17 に行ったセルフモニタリングにおける主な確認内容を次項以降に記載した。

**表 3-1 セルフモニタリング確認表（R4 年 9 月度）**

| 種別 | 項目 | 9月度確認チェックリスト項番 |
|---|---|---|
| 経営 | 第三者委託 | 1-3、1-5 |
| | 財務状況 | 1-6、1-7、1-8 |
| | 内部統制 | 1-11、1-13、1-14 |
| | 情報公開 | 1-16 |
| | 技術管理 | 1-17 |
| 維持管理 | リスク管理 | 2-3、2-4 |
| | 汚水管渠 | 2-13 |
| | 終末処理場 | 終-4、終-5、終-6、終-7、終-10 |
| | 漁集処理場 | 漁-1、漁-2、漁-3、漁-4、漁-5、漁-10 |
| | クリーンセンター横浪 | CC-4、CC-5、CC-6、CC-7、CC-9 |
| | 雨水ポンプ場 | 雨P-1、雨P-2、雨P-6、雨P-7、雨P-11 |
| | 雨水管渠 | 雨管-4、雨管-5、雨管-8、雨管-10 |
| 附帯、任意 | 任意事業 | 3-4 |

# 4 経営のモニタリング結果（令和４年９月度）

## 4.1 財務管理

### 1） 収支結果（令和 4 年 9 月度）

・9 月度の単月収支実績を確認した。

## 4.2 内部統制

### 1） CPS の新型コロナウィルス対策

CPS が行っている主な新型コロナウィルス対策としては以下の通りである。

・維持管理を担う社員の居室を 1F と 2F に分けて感染リスクを分散する。

・ミーティング時には社員間の距離を確保する。

・居室入り口に消毒液を設置し小まめに使用する。

・定期的に室内に外気を取り入れるなど、十分な換気を行う。

・終末処理場のエントランスに設置の検温器で入場者の検温を実施。

・施設の点検時等のマスク装着は、熱中症対策にも考慮して行う。

### 2） 法令順守

・現段階において法令に違反するような事項は確認されていない。（特に就業表にて労基法違反等がないか確認）

## 4.3 情報公開

・CPS ホームページに、過去の定例会の概要（議事録）、施設の維持管理状況（放流水質等）をアップしている。

## 4.4 その他

・9/16 に東京都小笠原村の建設水道課、同村の処理施設における維持管理会社による現地視察が行われ、建設課、ＣＰＳ、三機工業の担当者が対応した。主にＤＨＳ施設の見学、コンセッション事業の概要説明等を行った。

・9/15 に任意事業の一つである、災害時避難所（市役所）横に設置するマンホールトイレのマンホール蓋の取替工事を行った。（通常の小型マンホール蓋から色付きで「災害用トイレ」の文字入りに交換）

なお、災害時の避難所用マンホールトイレ、ポータブル電源の寄贈式（ＣＰＳ→市）は、11 月 30 日に行われることとなった。

# 5 維持管理のモニタリング結果（令和年９月度）

以下に、令和 4 年 9 月度における維持管理状況のモニタリング結果を示した。
確認はチェックリストにより行い、確認資料の抜粋編を以下に記載した。
※点検管理内容の詳細は、別添の各施設管理月報、日報資料参照

## 5.1 汚水管渠

汚水管渠の維持管理として、当面は主に、平成 29 年度に実施された汚水管渠劣化調査結果を基に、以下の対象箇所の点検調査を優先的に行う。

**表 5-1　点検・調査集計表**

| ①道路陥没リスク | | | ②管渠閉塞リスク | | | ③-1影響度の大きい管路（幹線管渠） | | | ③-2影響度の大きい管路（県道下管渠） | | | ④腐食環境下路線（急勾配直下管渠） | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 路線番号 | 管種・管径 | 延長 | 路線番号 | 管種・管径 | 延長 | 路線番号 | 管種・管径 | 延長 | 路線番号 | 管種・管径 | 延長 | 路線番号 | 管種・管径 | 延長 |
| 1-0-2 | HP600 | 10.76 | 5-0-13 | VU200 | 63.45 | 1-0-2 | HP600 | 155.9 | 5-1-3 | HP250 | 47.55 | 5-6-1-1 | VU200 | 16.35 |
| 5-0-11 | VU200 | 52.5 | 5-0-13 | VU200 | 48.05 | 1-0-2 | HP800 | 99.25 | 5-1-4 | VU200 | 40.55 | 5-5-2 | VU200 | 22.7 |
| 5-0-1bs | VU200 | 24.9 | 5-0-1bs | VU200 | 33.9 | 1-0-3 | HP600 | 25.35 | 5-1-5 | VU200 | 23.7 | 5-5-5 | VU200 | 64.4 |
| 5-0-1cs | VU200 | 29.95 | 5-6-1-1 | VU200 | 48.95 | 1-0-3 | VU600 | 28.7 | 5-1-6 | VU200 | 142.45 | 5-5-7 | VU200 | 37.8 |
| 5-1-2 | HP250 | 64.55 | 5-6-3a | VU200 | 23.05 | 5-0-1a | VU300 | 56.1 | 5-1-1-1 | VU200 | 78.15 | 5-5-8 | VU200 | 39.9 |
| 5-0-2bS | VU200 | 24.95 | 5-7-1b | VU200 | 96.95 | 5-0-1b | VU300 | 60.05 | 5-1-4-1 | VU200 | 64.35 | 5-5-9 | VU200 | 33 |
| 5-0-2cS | VU200 | 35.25 | 5-8-1 | VU200 | 32.2 | 5-0-1c | VU300 | 60.15 | 5-1-4-3 | VU200 | 102.45 | 5-5-3-2 | VU200 | 44.2 |
| 5-2-1-1a | VU200 | 12.85 | 5-9-3 | VU200 | 26.55 | 5-0-1d | VU300 | 64.05 | 5-1-4-2 | VU200 | 38.15 | 5-5-3-3 | VU200 | 113.6 |
| 5-0-6-cS | VU200 | 30.85 | 5-9-4 | VU200 | 61.55 | 5-0-2a | VU300 | 6.65 | 5-2-1 | VU200 | 35 | 5-5-5-2 | VU200 | 37.95 |
| 5-9-8-1 | VU200 | 18.1 | 5-9-4-2 | VU200 | 13.05 | 5-0-2b | VU300 | 52.55 | 5-2-2 | VU200 | 80.35 | | | |
| 5-9-1-1 | VU200 | 32.4 | 5-5-3 | VU200 | 11.7 | 5-0-2c | VU300 | 58.15 | 5-8-1 | VU200 | 64.15 | | | |
| 5-9-5-1-1a-1 | VU200 | 33 | 5-5-4 | VU200 | 13.55 | 5-0-3 | VU250 | 38.05 | 5-4-1a-1 | VU200 | 61.5 | | | |
| 5-11-1 | VU200 | 36.95 | 5-5-6 | VU200 | 64.2 | 5-0-4 | HP250 | 38.35 | | | | | | |
| 5-11-4a | VU200 | 26.3 | 5-5-10c | VU200 | 17.65 | | | | | | | | | |
| 5-11-4b | VU200 | 25.7 | | | | | | | | | | | | |
| 5-11-3-1 | VU200 | 30.6 | | | | | | | | | | | | |
| 5-5-10a | VU200 | 18.35 | | | | | | | | | | | | |
| 5-5-3-1-1 | VU200 | 33.85 | | | | | | | | | | | | |
| 5-5-3-4 | VU200 | 10.85 | | | | | | | | | | | | |
| 5-5-4-1b | VU200 | 17.5 | | | | | | | | | | | | |
| 延長計 | | 570 | 延長計 | | 555 | 延長計 | | 743 | 延長計 | | 778 | 延長計 | | 410 |

※1：①、②は、H29年度実施の汚水管渠劣化調査結果より集計。
※2：③、④は、H30年度事業計画図書等より集計。
※3：延長は、人孔間延長を計上し、①～④で重なる部分は若い番号（優先度高）で計上。

### 1） 大雨時の巡視

降雨後の巡視は、日降水量 100mm 以上を目安に実施しており、9 月度は 3 日（土）の日降水量 71.5mm（気象庁データ）が最大量であったため、大雨後の巡視は実施していない。

## 2) 道路陥没リスク及びその他面整備管渠の巡視・点検

汚水管渠及び人孔の巡視・点検として、平成 29 年度実施の汚水管渠劣化調査で判定された道路陥没リスク及びその他面整備管渠について、9 月 7 日に実施した。（次項、位置図参照）

実施数量及び目視点検における判定基準（下水道維持管理指針（実務編）2014 年版）を示す。

表 5-2 巡視・点検実施数量

| 実施日 | 人孔レコードID | 下流管渠レコードID | 人孔番号 | 分類 | 管種・管径 | 下流管渠延長(m) | マンホール（箇所） | マンホール蓋（箇所） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 2022/9/7 | 9 | 6 | S309 | ①道路陥没リスク | VU200 | 18.75 | 1 | 1 |
| | 10 | 7 | S310 | ①道路陥没リスク | VU200 | 18.25 | 1 | 1 |
| | 11 | 8 | S311 | ②管渠閉塞リスク | VU200 | 16.55 | 1 | 1 |
| | 12 | 9 | S312 | ②管渠閉塞リスク | VU200 | 17.50 | 1 | 1 |
| | 13 | 10 | S313 | ⑤その他管渠 | VU200 | 23.70 | 1 | 1 |
| | 14 | 11 | S314 | ⑤その他管渠 | VU200 | 21.90 | 1 | 1 |
| | 24 | 21 | S413 | ⑤その他管渠 | VU200 | 23.45 | 1 | 1 |
| | 25 | 22 | S414 | ⑤その他管渠 | VU200 | 25.65 | 1 | 1 |
| | 26 | 23 | S415 | ⑤その他管渠 | VU200 | 6.20 | 1 | 1 |
| | 145 | 139 | S186 | ⑤その他管渠 | VU200 | 26.10 | 1 | 1 |
| | 146 | 140 | S187 | ①道路陥没リスク | VU200 | 32.75 | 1 | 1 |
| | 147 | 141 | S188 | ①道路陥没リスク | VU200 | 17.90 | 1 | 1 |
| | 284 | 281 | S416 | ⑤その他管渠 | VU200 | 33.50 | 1 | 1 |
| | 285 | 282 | S417 | ⑤その他管渠 | VU200 | 26.00 | 1 | 1 |
| 計 | | | | | | 308.20 | 14.00 | 14.00 |

表 5-3 マンホール点検及び調査における判定基準

| 部位 | | 異常項目 | 判定基準 | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | Aランク | Bランク | Cランク |
| 蓋及び路面 | 路面 | 路面状況 | 舗装版にｸﾗｯｸや欠けがあり、通行に支障を来たす | 段差が生じている、擦付けが悪く水がたまる | 蓋上部に水がたまる、道路との擦付けが悪い |
| | | 蓋違い，ガタツキ | 開閉できない | ガタツキがある | — |
| | 蓋受枠 | 蓋の破損・劣化 | 蓋・受け枠にｸﾗｯｸや欠けがある | — | — |
| | | 蓋の摩耗 | 表面がつるつるして通行に支障をきたす(車歩道部の蓋溝高さ2mm以下) | 摩耗が大(車道部の蓋溝高さ:2～3mm以下) | 摩耗が小(車道部の蓋溝高さ:2～3mm以上) |
| | | 蓋裏の錆 | — | 多量発錆 | 少量発錆 |
| マンホール | 調整部 | 調整部状況 | 調整モルタル及びリングが破損・欠落 | 調整リング及びリングのズレ | 調整モルタル及びリングのずれ・クラック |
| | 斜壁 | 腐食 | 鉄筋露出 | 骨材露出 | 表面の荒れ |
| | | 破損 | 欠落・陥没 | 全体に亀裂 | 軽微な破損（A・B以外） |
| | | クラック | 全体がクラック（人孔全周、幅5mm以上） | 部分的にクラック（人孔半周、幅2～5mm） | 軽微なクラック（幅2mm未満） |
| | | 隙間・ズレ | 全体が脱却 | 一部が脱却 | わずかの隙間・ズレ |
| | | 浸入水 | 噴き出ている状態 | 流れている状態 | にじんでいる状態 |
| | | 木根侵入 | 内径の50%以上 | 内径の10～50% | 内径の10%未満 |
| | 直壁（管口部含む） | 腐食 | 鉄筋露出(表面pH：1程度) | 骨材露出(表面pH：3未満) | 表面の荒れ(表面pH：3以上5以下) |
| | | 破損 | 欠落（陥没） | 全体に亀裂 | 軽微な破損（A・B以外） |
| | | クラック | 全体がクラック（人孔全周、幅5mm以上） | 部分的にクラック（人孔半周、幅2～5mm） | 軽微なクラック（幅2mm未満） |
| | | 隙間・ズレ | 全体が脱却 | 一部が脱却 | わずかの隙間・ズレ |
| | | 本管突出・抜出し | 100mm以上突出・抜出しがあり、流下に支障をきたす | 50mm以上突出・抜出しがあり、流下に支障をきたす | 50mm未満突出・抜出しがあり、流下に支障をきたす |
| | | 浸入水 | 噴き出ている状態 | 流れている状態 | にじんでいる状態 |
| | | 木根侵入 | 内径の50%以上 | 内径の10～50% | 内径の10%未満 |
| | | たるみ | 内径の3/4以上 | 内径の1/2～3/4 | 内径の1/2未満 |
| | 付帯物 | 足掛金物 | 欠落している | 鉄筋が細くなっている | 錆の発生 |
| | | ｲﾝﾊﾞｰﾄ | インバートがない | 部分的な破損 | — |
| | その他 | 臭気 | 常に発生 | 使用ピーク中に発生 | 季節的に発生 |
| 流下状況 | | 油脂・ﾓﾙﾀﾙ・土砂等の堆積状況 | 管径の1/3以上の付着 | 管径の1/3～1/10の付着 | 管径の1/10未満の付着 |

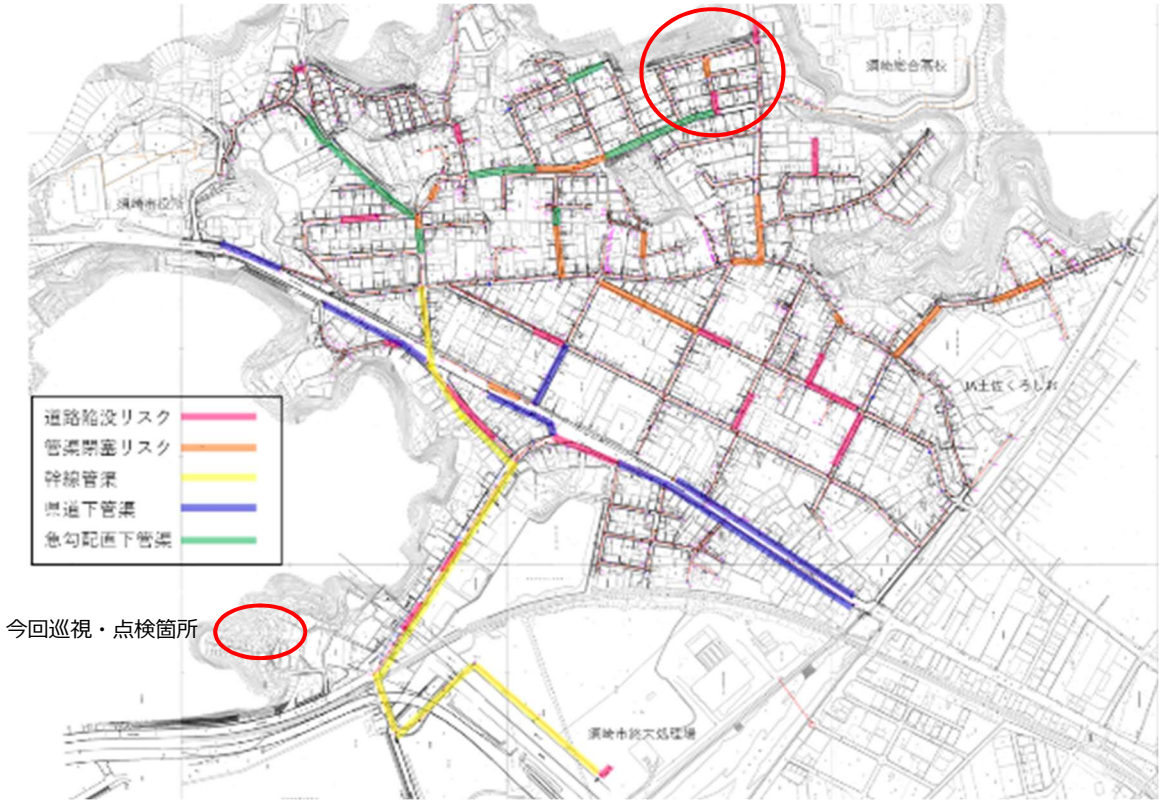


図 5-1 全体位置図

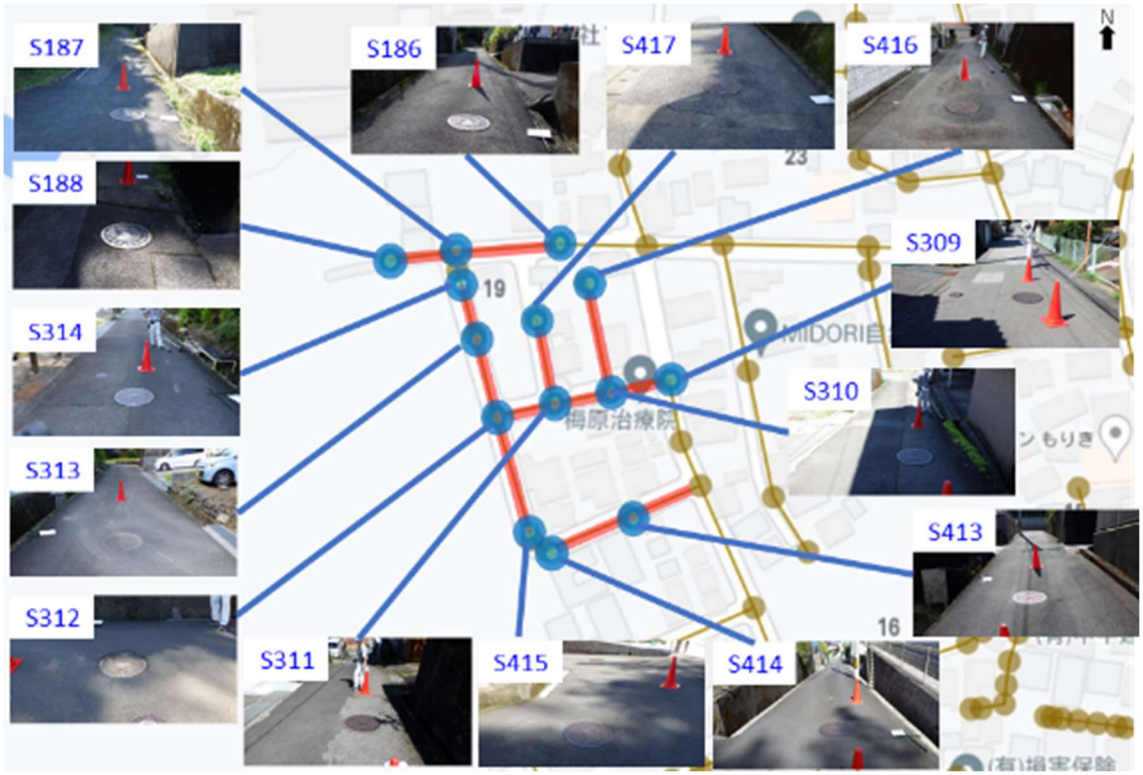


図 5-2 対象路線位置図

○巡視・点検結果

以下に、巡視・点検の代表地点の写真を添付し、異状箇所について特記事項を記す。

<table>
<tr><th colspan="4">路面状況</th></tr>
<tr><td>S309　ひび割れ</td><td>S311　ひび割れ</td><td>S416　段差</td><td>S417　段差</td></tr>
<tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr>
<tr><th colspan="4">マンホール蓋・本体</th></tr>
<tr><td>S311　多量発錆</td><td>S415　多量発錆</td><td>S310　骨材露出</td><td>S311　骨材露出</td></tr>
<tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr>
<tr><td>S312　骨材露出</td><td>S313　骨材露出</td><td>S413 浸入水</td><td>S414　浸入水</td></tr>
<tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr>
<tr><td>S415 調整部欠落</td><td>S415　浸入水</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td> </td><td> </td><td></td><td></td></tr>
<tr><th colspan="4">管口・管内</th></tr>
<tr><td>S310 上流 隙間</td><td>S312 上流 破損</td><td>S413 下流 継手ズレ</td><td>S414 下流 隙間</td></tr>
<tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr>
<tr><td>S414 上流 隙間</td><td>S415 下流 抜出し</td><td>S415 上流 抜出し</td><td></td></tr>
<tr><td> </td><td> </td><td> </td><td></td></tr>
</table>

○巡視点検結果による考察

今回点検路線の路面状況について、各箇所でひび割れと段差を確認した。段差を確認した S416 および S417 人孔付近は、降雨後の巡視においても広範囲の水溜りが見られるため、経過観察していく。

マンホール本体は、経年劣化による骨材露出が見られ、躯体ブロック継ぎ目部分から浸入水が確認された。また、今回点検箇所では管口の隙間や抜出しを多数確認した。

浸入水はにじんでいる程度の状態であり、管口付近から土砂の引き込みまでは確認されなかったことから、緊急対応を要する異状はなかった。

上記点検結果を踏まえ、今回点検にて目視確認した異状項目を下水道維持管理指針（実務編）2014 版に基づく判定基準を参考にリストアップし、以下に添付する。

# 表 5-4 人孔異状項目リスト

| 委託業務の名称 | 令和4年度　須崎市公共下水道管渠運営業務　人孔異状項目 | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 巡視・点検日 | 異状の程度 | 異状箇所 | 項　　目 | 状　　態 | 完了日 | 備　　考 |
| 令和4年9月7日 | C | 5-5-9 S309人孔 | 路面状況　損傷 | ひび割れ | | |
| | C | | マンホール蓋　錆 | 少量発錆 | | |
| | C | | 直壁　損傷 | 軽微な破損 | | |
| | C | 5-5-10a S310人孔 | マンホール蓋　錆 | 少量発錆 | | |
| | B | | 斜壁　腐食 | 骨材露出 | | |
| | C | | 直壁　腐食 | 表面荒れ | | |
| | C | | 管口 上流No.5 | 隙間 | | |
| | C | 5-5-10b S311人孔 | 路面状況　損傷 | ひび割れ | | |
| | B | | マンホール蓋　錆 | 多量発錆 | | |
| | B | | 斜壁　腐食 | 骨材露出 | | |
| | C | | 直壁　腐食 | 表面荒れ | | |
| | C | 5-5-10c S312人孔 | マンホール蓋　錆 | 少量発錆 | | |
| | B | | 調整部状況 | 骨材露出 | | |
| | C | | 直壁　腐食 | 表面荒れ | | |
| | C | | 管口 上流No.3 | 破損 | | |
| | C | 5-5-11 S313人孔 | マンホール蓋　錆 | 少量発錆 | | |
| | B | | 調整部状況 | 骨材露出 | | |
| | B | | 斜壁　腐食 | 骨材露出 | | |
| | B | | 直壁　腐食 | 骨材露出 | | |
| | C | 5-5-11 S314人孔 | マンホール蓋　錆 | 少量発錆 | | |
| | C | | 斜壁　損傷 | 軽微な破損 | | |
| | C | | 直壁　腐食 | 表面荒れ | | |
| | C | 5-5-8-1 S413人孔 | マンホール蓋　錆 | 少量発錆 | | |
| | C | | 斜壁　浸入水 | にじんでいる | | |
| | C | | 管口 下流No.1 | 継手ズレ | | |
| | C | 5-5-8-1 S414人孔 | マンホール蓋　錆 | 少量発錆 | | |
| | C | | 斜壁　損傷 | 軽微な破損 | | |
| | C | | 斜壁　浸入水 | にじんでいる | | |
| | C | | 直壁　損傷 | 軽微な破損 | | |
| | C | | 直壁　浸入水 | にじんでいる | | |
| | C | | 管口 下流No.1 | 隙間 | | |
| | C | | 管口 上流No.6 | 隙間 | | |
| | B | 5-5-8-2 S415人孔 | マンホール蓋　錆 | 多量発錆 | | |
| | A | | 調整部状況 | 欠落 | | |
| | C | | 斜壁　浸入水 | にじんでいる | | |
| | C | | 管口 下流No.1 | 抜出し | | |
| | C | | 管口 上流No.6 | 抜出し | | |
| | C | 5-9-8-1 S186人孔 | マンホール蓋　錆 | 少量発錆 | | |
| | C | 5-9-8-1 S187人孔 | マンホール蓋　錆 | 少量発錆 | | |
| | C | 5-9-8-1 S188人孔 | マンホール蓋　錆 | 少量発錆 | | |
| | C | 5-5-10a-1 S416人孔 | 路面状況 | 段差 | | |
| | C | | マンホール蓋　錆 | 少量発錆 | | |
| | C | 5-5-10b-1 S417人孔 | 路面状況 | 段差 | | |
| | C | | マンホール蓋　錆 | 少量発錆 | | |
| | C | | 管口 上流No.7 | 突出し | | |

**備　　考**

**異状の程度の判定基準**

Ｓ ： 不具合を生じている、または生じる可能性が高く、早急に実施を要求するもの

Ａ ： 不具合の可能性があり、流下能力やマンホール機能に対する影響が大きく１年以内を目処に実施を要求するもの

Ｂ ： 流下能力やマンホール機能に対する影響があり、今後２～３年以内に実施を要求するもの

Ｃ ： 直ちに流下能力やマンホール機能に影響する可能性が低く、５年程度内に実施を要求するもの

## 5.2 雨水管渠

雨水管渠の維持管理については、当面は主に、市が重要な管渠として指定している重点路線の巡視・点検調査を優先的に行う。（次項、位置図の赤色路線）

また、その他管渠（暗渠のみ、位置図の青色路線）についても、順次、巡視・点検を行う。

**表 5-5　点検・調査の重点路線**

| 排水区の名称 | 幹線、ポンプ施設の名称 |
|---|---|
| 多ノ郷排水区 | 西崎第 2 幹線 |
| | 終末処理場内ポンプ場の流入渠 |
| 大間排水区 | 大間ポンプ場の流入渠 |
| 山下排水区 | 山下幹線 |
| 朝ヶ谷排水区 | 朝ヶ谷幹線 |
| 須崎排水区 | 須崎ポンプ場の流入渠、放流渠 |
| 須崎西部排水区 | 須崎西部ポンプ場の流入渠 |
| 浜町排水区 | 浜町ポンプ場の流入渠 |

マンホール内目視点検の判定基準（下水道維持管理指針（実務編）2014 年版）を以下に示す。

**表 5-6 マンホール点検及び調査における判定基準**

| 部位 | | 異常項目 | 判定基準 | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | Aランク | Bランク | Cランク |
| 蓋及び路面 | 路面 | 路面状況 | 舗装版にｸﾗｯｸや欠けがあり、通行に支障を来たす | 段差が生じている、擦付けが悪く水がたまる | 蓋上部に水がたまる、道路との擦付けが悪い |
| | | 蓋違い，ガタツキ | 開閉できない | ガタツキがある | — |
| | 蓋受枠 | 蓋の破損・劣化 | 蓋・受け枠にｸﾗｯｸや欠けがある | — | — |
| | | 蓋の摩耗 | 表面がつるつるして通行に支障をきたす(車歩道部の蓋溝高さ2mm以下) | 摩耗が大(車道部の蓋溝高さ:2～3mm以下) | 摩耗が小(車道部の蓋溝高さ:2～3mm以上) |
| | | 蓋裏の錆 | — | 多量発錆 | 少量発錆 |
| マンホール | 調整部 | 調整部状況 | 調整モルタル及びリングが破損・欠落 | 調整リング及びリングのズレ | 調整モルタル及びリングのずれ・クラック |
| | 斜壁 | 腐食 | 鉄筋露出 | 骨材露出 | 表面の荒れ |
| | | 破損 | 欠落・陥没 | 全体に亀裂 | 軽微な破損(A・B以外) |
| | | クラック | 全体がクラック(人孔全周、幅5mm以上) | 部分的にクラック(人孔半周、幅2～5mm) | 軽微なクラック(幅2mm未満) |
| | | 隙間・ズレ | 全体が脱却 | 一部が脱却 | わずかの隙間・ズレ |
| | | 浸入水 | 噴き出ている状態 | 流れている状態 | にじんでいる状態 |
| | | 木根侵入 | 内径の50%以上 | 内径の10～50% | 内径の10%未満 |
| | 直壁（管口部含む） | 腐食 | 鉄筋露出(表面pH:1程度) | 骨材露出(表面pH:3未満) | 表面の荒れ(表面pH:3以上5以下) |
| | | 破損 | 欠落(陥没) | 全体に亀裂 | 軽微な破損(A・B以外) |
| | | クラック | 全体がクラック(人孔全周、幅5mm以上) | 部分的にクラック(人孔半周、幅2～5mm) | 軽微なクラック(幅2mm未満) |
| | | 隙間・ズレ | 全体が脱却 | 一部が脱却 | わずかの隙間・ズレ |
| | | 本管突出・抜出し | 100mm以上突出・抜出しがあり、流下に支障をきたす | 50mm以上突出・抜出しがあり、流下に支障をきたす | 50mm未満突出・抜出しがあり、流下に支障をきたす |
| | | 浸入水 | 噴き出ている状態 | 流れている状態 | にじんでいる状態 |
| | | 木根侵入 | 内径の50%以上 | 内径の10～50% | 内径の10%未満 |
| | | たるみ | 内径の3/4以上 | 内径の1/2～3/4 | 内径の1/2未満 |
| | 付帯物 | 足掛金物 | 欠落している | 鉄筋が細くなっている | 錆の発生 |
| | | ｲﾝﾊﾞｰﾄ | インバートがない | 部分的な破損 | — |
| | その他 | 臭気 | 常に発生 | 使用ピーク中に発生 | 季節的に発生 |
| 流下状況 | | 油脂・ﾓﾙﾀﾙ・土砂等の堆積状況 | 管径の1/3以上の付着 | 管径の1/3～1/10の付着 | 管径の1/10未満の付着 |

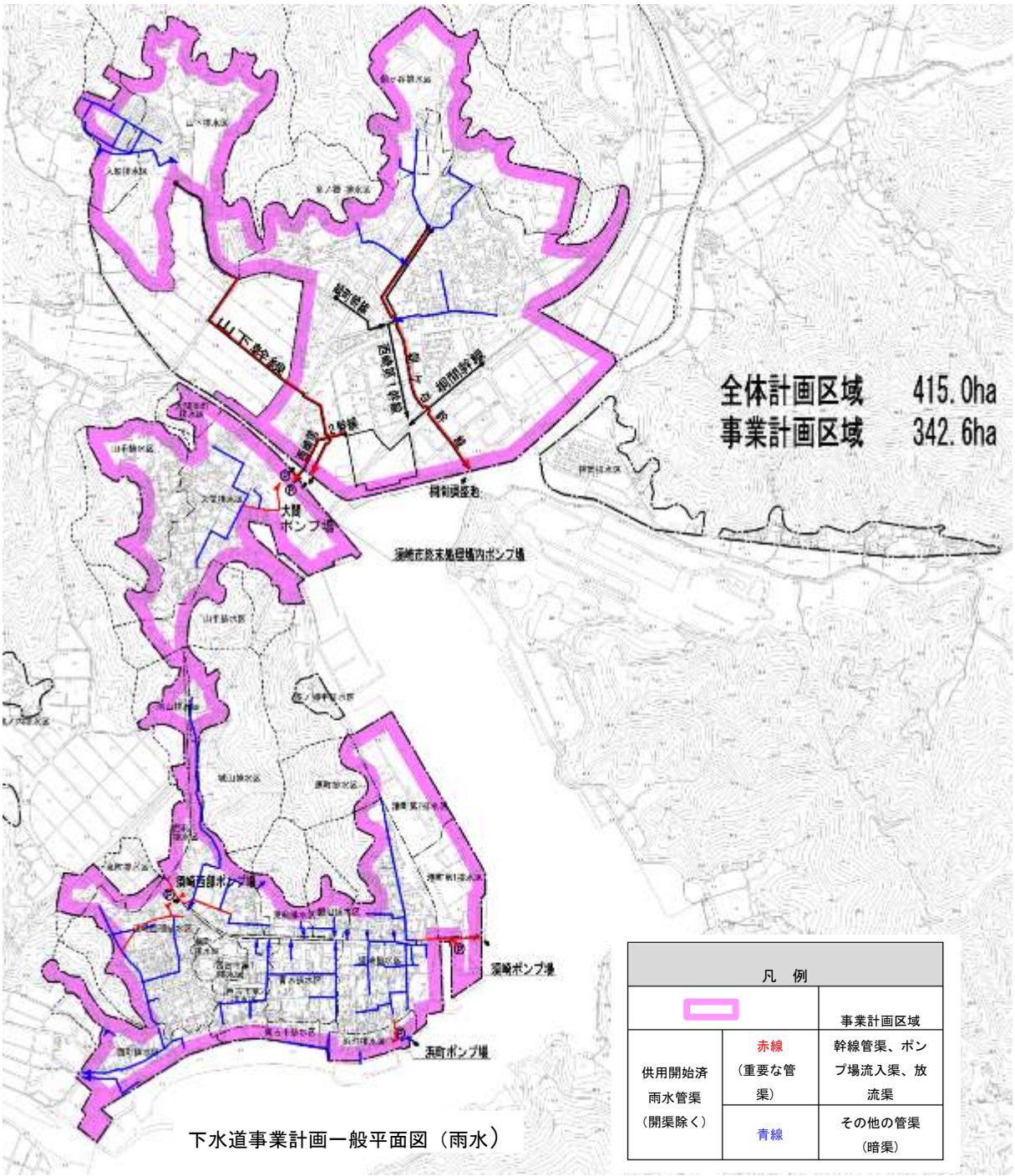


図 5-3　全体位置図

### 1)　マンホール蓋の巡視・点検業務（圧力マンホール）

今回の巡視・点検では、圧力マンホールの巡視は実施していない。

2) マンホール内目視確認業務（圧力マンホール以外）

今回の巡視・点検では、次項位置図に示す路線のマンホールの巡視・点検を実施した。（次項、位置図参照）

当月度の実施数量を以下に示す。

表 5-7　巡視・点検実施数量（圧力マンホール以外）

| 実施日 | 人孔レコードID | 下流管渠レコードID | 人孔番号 | 排水区 | 管種・管径 | 下流管渠延長(m) | マンホール（箇所） | マンホール蓋（箇所） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 2022/9/8 | 812 | 1066 | 6-R31 | 須崎西部 | VP450 | 5.87 | 1 | 1 |
| | 813 | 1067 | 6-R32 | 須崎西部 | VP450 | 32.79 | 1 | 1 |
| | 814 | 1068 | 6-R33 | 須崎西部 | CP450 | 26.20 | 1 | 1 |
| | 815 | 1069 | 6-R34 | 須崎西部 | CP600 | 4.63 | 1 | 1 |
| | 816 | 1070 | 6-R35 | 須崎西部 | CP600 | 25.77 | 1 | 1 |
| | 817 | 1071 | 6-R36 | 須崎西部 | VP400 | 23.65 | 1 | 1 |
| | 818 | 1072 | 6-R37 | 須崎西部 | VP400 | 11.12 | 1 | 1 |
| | 819 | 1073 | 6-R38 | 須崎西部 | VP600 | 11.97 | 1 | 1 |
| | 820 | 1074 | 6-R39 | 須崎西部 | VP600 | 5.49 | 1 | 1 |
| | 822 | 1076 | 6-R41 | 須崎西部 | VP600 | 47.97 | 1 | 1 |
| | 823 | 1077 | 6-R42 | 須崎西部 | CP450 | 4.60 | 1 | 1 |
| | 824 | 1078 | 6-R43 | 須崎西部 | CP450 | 40.60 | 1 | 1 |
| | 825 | 1079 | 6-R44 | 須崎西部 | CP400 | 27.15 | 1 | 1 |
| | 826 | 1080 | 6-R45 | 須崎西部 | CP300 | 37.30 | 1 | 1 |
| 計 | | | | | | 305.11 | 14.00 | 14.00 |

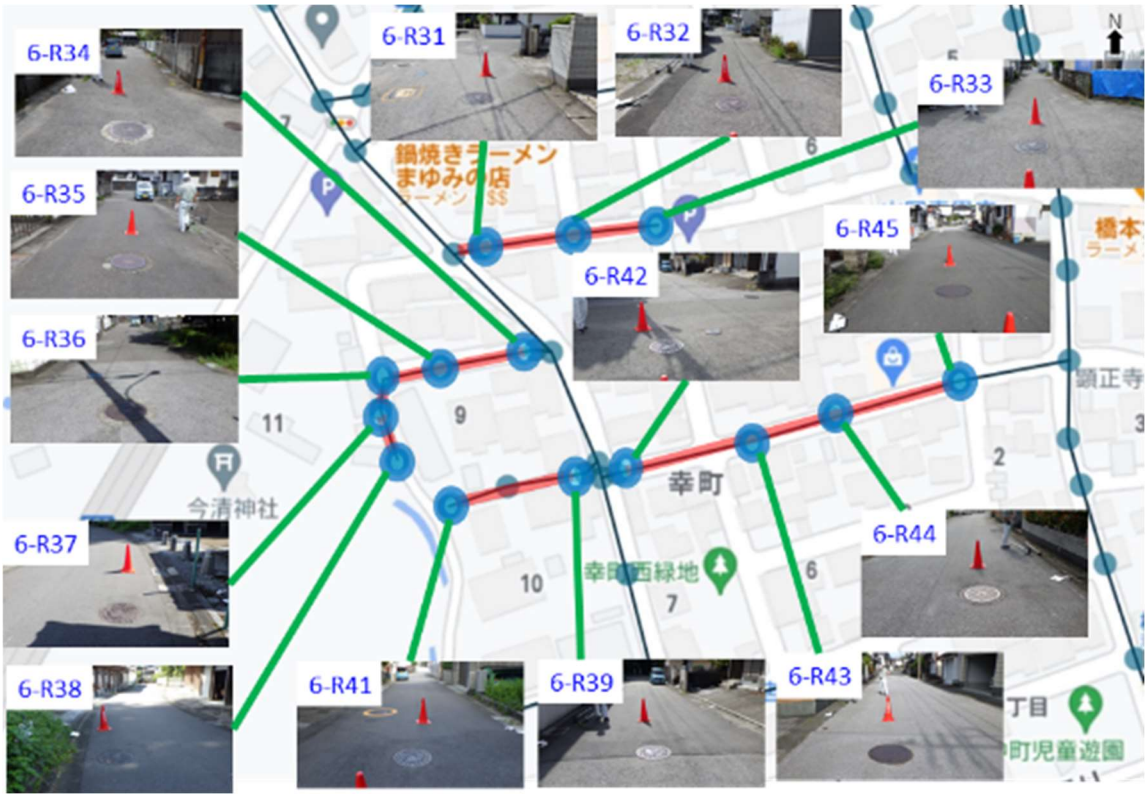


図 5-4 対象マンホール位置図（圧力マンホール以外）

○巡視・点検結果

巡視・点検の代表地点の写真を添付し、異常箇所について特記事項を記す。

| 路面状況 | | | |
|---|---|---|---|
| 6-R35　ひび割れ | 6-R42　ひび割れ | | |
| | | | |
| マンホール蓋・受枠 | | | |
| 6-R31　多量発錆 | 6-R32 多量発錆 | 6-R39 蝶番破損 | 6-R44　摩耗(2.6mm) |
| | | | |
| マンホール本体 | | | |
| 6-R36　骨材露出 | 6-R39　骨材露出 | 6-R42　骨材露出 | 6-R43　骨材露出 |
| | | | |
| 6-R44　骨材露出 | 6-R45　調整部欠落 | 6-R45　骨材露出 | |
| | | | |
| 管口・管内 | | | |
| 6-R33　下流　継手ズレ | 6-R33　上流　突出し | 6-R35　上流　土砂流下 | 6-R38　下流　土砂流下 |
| | | | |
| 6-R39　下流　破損 | 6-R39　上流　破損 | 6-R45　下流　占用物 | |
| | | | |

○巡視・点検結果による考察

今回点検を行った人孔の目視確認において、人孔躯体表面の骨材露出や部分的な損傷など経年劣化を確認した。管口・管内においては、管口の破損や土砂の流下が確認された。

緊急対応を必要とする異状は確認されなかったが、6-R45 人孔においては、下流管内に占用物件が確認され、流下断面の損失や管渠の強度劣化につながることから、不要であれば今後撤去を検討する必要がある。

上記点検結果を踏まえ、今回点検にて目視確認した異状項目を下水道維持管理指針（実務編）2014 版に基づく判定基準を参考にリストアップし、次項に添付する。

## 表 5-8 人孔異状項目リスト（圧力マンホール以外）

| 委託業務の名称 | 令和4年度　須崎市公共下水道管渠(雨水)維持管理業務　人孔異状項目 | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 巡視・点検日 | 異状の程度 | 異状箇所 | 項　　目 | 状　　態 | 完了日 | 備　考 |
| 令和4年9月8日 | B | 須崎西部　6-R31 | マンホール蓋　錆 | 多量発錆 | | |
| | B | 須崎西部　6-R32 | マンホール蓋　錆 | 多量発錆 | | |
| | C | | 斜壁　腐食 | 表面荒れ | | |
| | C | 須崎西部　6-R33 | マンホール蓋　錆 | 少量発錆 | | |
| | C | | 斜壁　腐食 | 表面荒れ | | |
| | C | | 管口 下流No.1 | 継手ズレ | | |
| | B | | 管口 上流No.6 | 突出し | | |
| | C | 須崎西部　6-R34 | マンホール蓋　錆 | 少量発錆 | | |
| | C | | 調整部状況 | ズレ | | |
| | C | | 直壁　損傷 | 軽微な破損 | | |
| | C | 須崎西部　6-R35 | 路面状況　損傷 | ひび割れ | | |
| | C | | マンホール蓋　錆 | 少量発錆 | | |
| | C | | 直壁　隙間・ズレ | 隙間 | | |
| | C | | 管口 上流No.3 | 土砂流下 | | |
| | C | 須崎西部　6-R36 | マンホール蓋　錆 | 少量発錆 | | |
| | C | | 斜壁　損傷 | 軽微な破損 | | |
| | B | | 直壁　腐食 | 骨材露出 | | |
| | C | | 直壁　損傷 | 軽微な破損 | | |
| | C | 須崎西部　6-R37 | マンホール蓋　錆 | 少量発錆 | | |
| | C | 須崎西部　6-R38 | マンホール蓋　錆 | 少量発錆 | | |
| | C | | 流下状況　堆積 | 殻堆積 | | |
| | C | | 管口 下流No.1 | 土砂流下 | | |
| | B | 須崎西部　6-R39 | マンホール蓋　損傷 | 蝶番破損 | | |
| | B | | マンホール蓋　錆 | 多量発錆 | | |
| | B | | 斜壁　腐食 | 骨材露出 | | |
| | C | | 直壁　腐食 | 表面荒れ | | |
| | C | | 管口 上流No.3 | 軽微な破損 | | |
| | C | | 管口 上流No.6 | 軽微な破損 | | |
| | C | 須崎西部　6-R41 | マンホール蓋　錆 | 少量発錆 | | |
| | C | | 流下状況　堆積 | 殻堆積 | | |
| | C | 須崎西部　6-R42 | 路面状況　損傷 | ひび割れ | | |
| | C | | マンホール蓋　錆 | 少量発錆 | | |
| | B | | 直壁　腐食 | 骨材露出 | | |
| | C | | 足掛金物　腐食・劣化 | 発錆 | | |
| | B | | インバート状況 | 骨材露出 | | |
| | C | 須崎西部　6-R43 | マンホール蓋　錆 | 少量発錆 | | |
| | B | | 直壁　腐食 | 骨材露出 | | |
| | C | | 足掛金物　腐食・劣化 | 発錆 | | |
| | B | | インバート状況 | 骨材露出 | | |
| | B | 須崎西部　6-R44 | マンホール蓋　摩耗 | 模様高2.6mm | | |
| | C | | マンホール蓋　錆 | 少量発錆 | | |
| | B | | 斜壁　腐食 | 骨材露出 | | |
| | B | | 直壁　腐食 | 骨材露出 | | |
| | C | | 足掛金物　腐食・劣化 | 発錆 | | |
| | B | | インバート状況 | 骨材露出 | | |
| | C | 須崎西部　6-R45 | マンホール蓋　錆 | 少量発錆 | | |
| | A | | 調整部状況 | 欠落 | | |
| | B | | 斜壁　損傷 | 部分的に破損 | | |
| | B | | 直壁　腐食 | 骨材露出 | | |
| | C | | 足掛金物　腐食・劣化 | 発錆 | | |
| | B | | インバート状況 | 骨材露出 | | |
| | B | | 管口 下流No.1 | 占用物 | | |

**異状の程度の判定基準**

備　考

Ｓ　：　不具合を生じている、または生じる可能性が高く、早急に実施を要求するもの

Ａ　：　不具合の可能性があり、流下能力やマンホール機能に対する影響が大きく１年以内を目処に実施を要求するもの

Ｂ　：　流下能力やマンホール機能に対する影響があり、今後２～３年以内に実施を要求するもの

Ｃ　：　直ちに流下能力やマンホール機能に影響する可能性が低く、５年程度内に実施を要求するもの

## 5.3 終末処理場

### 1) 流入水量の状況

9 月の流入水量は下図の通りである。平均値が 439m³/日、最大値が 627m³/日であった。月間降水量、流入水量ともに過去 5 年間の中では平均的な値となっているが、9 月 19 日に流入水量が多くなっている原因は、降雨による影響のみとは言えず、今後も注視する必要がある。

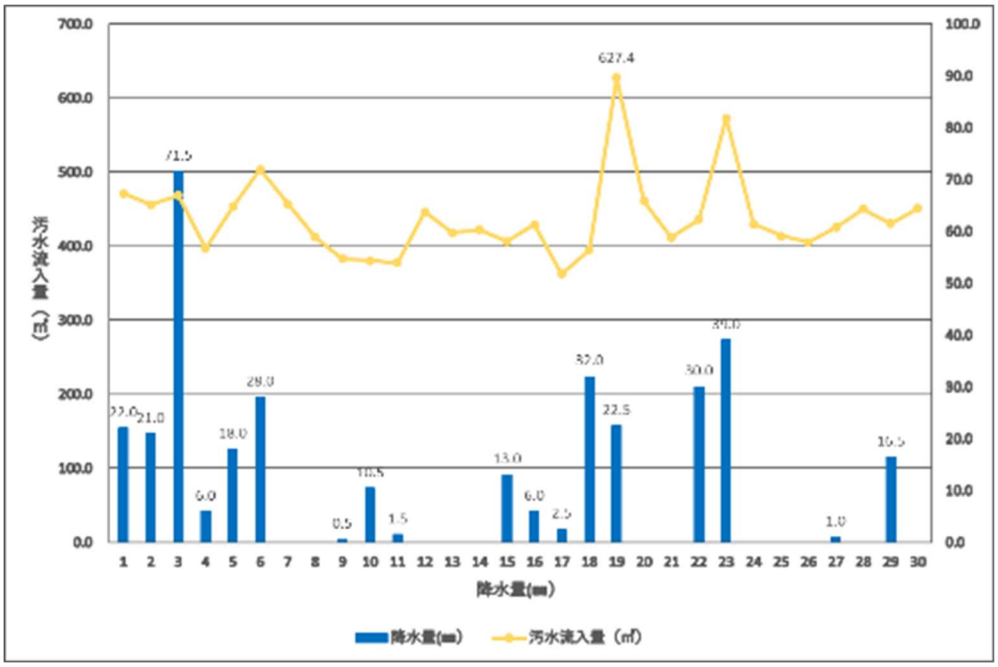


図 5-5　須崎市終末処理場の流入水量（R4 年 9 月）

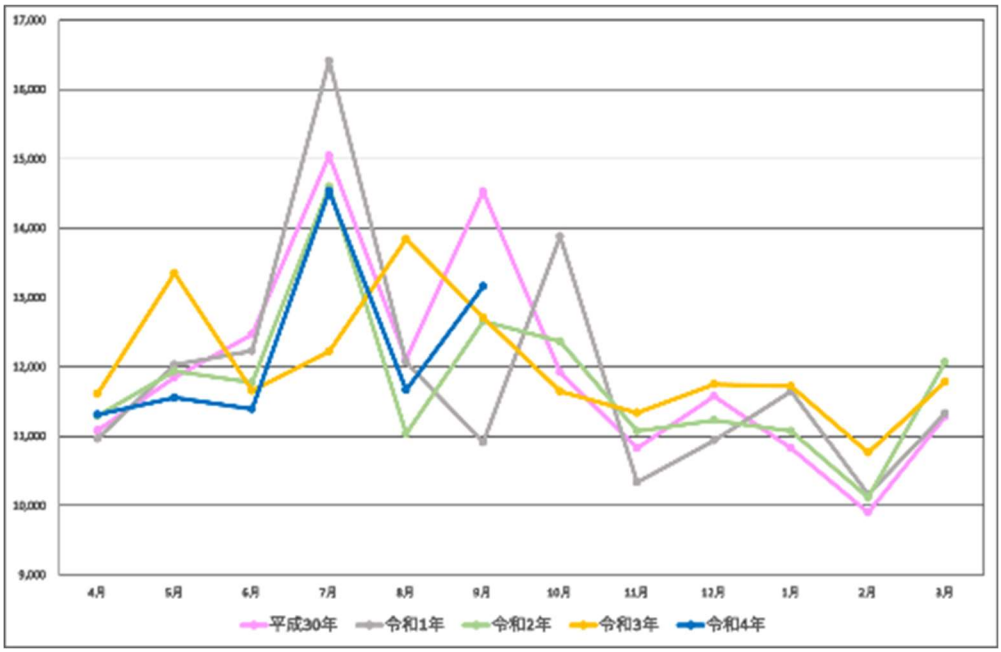


図 5-6　須崎市終末処理場の月別流入水量推移

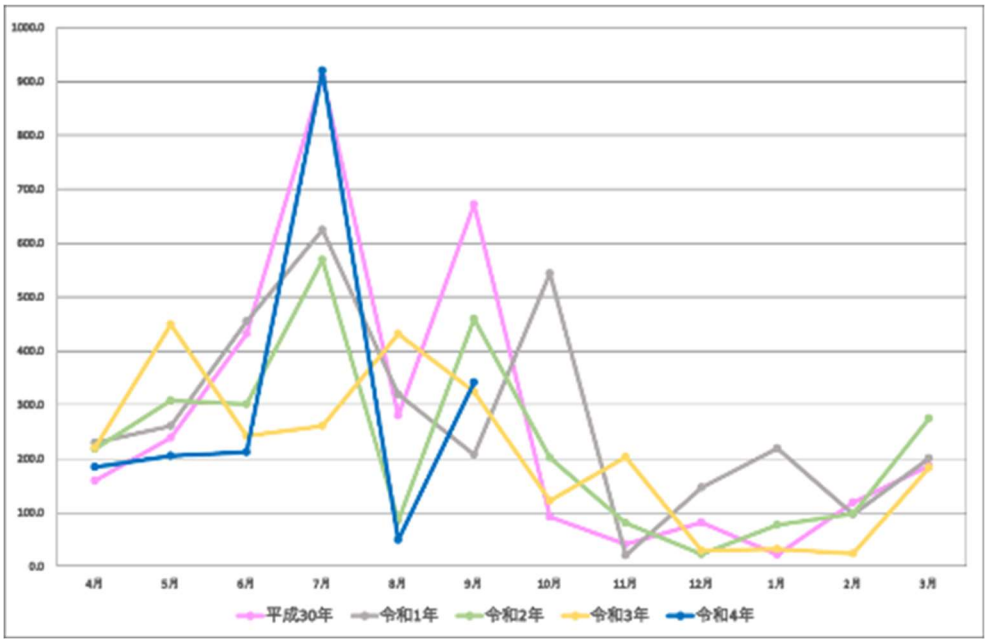


図 5-7　須崎地区月間降水量の推移（気象庁データ）

2)　放流水質の状況

目標値としての各水質は下表の通りであり、全項目において目標値を満足していた。

また、下水道法、水質汚濁防止法で義務付けられた年２回の法定水質試験について、１回目の試験結果が出たため以下に示した。全項目において基準値を満足していた。

表 5-9　施設管理のための日常水質試験結果

| 水質項目 | 単位 | 水質試験結果 | 放流目標値 |
|---|---|---|---|
| pH | ― | 6.7 | 5.0 以上 9.0 以下 |
| BOD | ｍｇ／L | 1.0 | 15 |
| SS | ｍｇ／L | 1.7 | 30 |
| 大腸菌群数 | 個／㎤ | 0 | 3,000 以下 |

表 5-10　法定水質試験結果（令和４年度１回目）

| 計　量　項　目 | 単位 | 計量結果 | 排水基準値 |
|---|---|---|---|
| pH | － | 6.9 | 5.8以上8.6以下 |
| BOD | mg/L | ＜0.5 | 160（日間平均120） |
| COD | mg/L | 3.7 | 160（日間平均120） |
| SS | mg/L | 1 | 200（日間平均150） |
| 大腸菌群数 | 個/cm³ | 0 | 日間平均3000 |
| 全窒素 | mg/L | 11.7 | 120(日間平均60) |
| 全リン | mg/L | 1.27 | 16（日間平均8） |
| カドミウム及びその化合物 | mg/L | ＜0.003 | 0.03 |
| シアン化合物 | mg/L | ＜0.1 | 1 |
| 有機リン化合物 | mg/L | ＜0.1 | 1 |
| 鉛及びその化合物 | mg/L | ＜0.01 | 0.1 |
| 六価クロム及びその化合物 | mg/L | ＜0.05 | 0.5 |
| ヒ素及びその化合物 | mg/L | ＜0.01 | 0.1 |
| 水銀及びアルキル水銀<br>その他の水銀化合物 | mg/L | ＜0.0005 | 0.005 |
| アルキル水銀化合物 | mg/L | 不検出 | 検出されないこと |
| ＰＣＢ | mg/L | ＜0.0005 | 0.003 |
| トリクロロエチレン | mg/L | ＜0.01 | 0.1 |
| テトラクロロエチレン | mg/L | ＜0.01 | 0.1 |
| ジクロロメタン | mg/L | ＜0.02 | 0.2 |
| 四塩化炭素 | mg/L | ＜0.002 | 0.02 |
| 1,2-ジクロロエタン | mg/L | ＜0.004 | 0.04 |
| 1,1-ジクロロエチレン | mg/L | ＜0.1 | 1 |
| シス-1,2-ジクロロエチレン | mg/L | ＜0.04 | 0.4 |
| 1,1,1-トリクロロエタン | mg/L | ＜0.3 | 3 |
| 1,1,2-トリクロロエタン | mg/L | ＜0.006 | 0.06 |
| 1,3-ジクロロプロペン | mg/L | ＜0.002 | 0.02 |
| チウラム | mg/L | ＜0.006 | 0.06 |
| シマジン | mg/L | ＜0.003 | 0.03 |
| チオベンカルブ | mg/L | ＜0.02 | 0.2 |
| ベンゼン | mg/L | ＜0.01 | 0.1 |
| セレン及びその化合物 | mg/L | ＜0.01 | 0.1 |
| n-ヘキサン抽出物質含有量 | mg/L | ＜1 | 鉱油5,植物油30 |
| フェノール類 | mg/L | ＜0.5 | 5 |
| 銅 | mg/L | 0.01 | 3 |
| 亜鉛 | mg/L | 0.02 | 2 |
| 溶解性鉄 | mg/L | 0.02 | 10 |
| 溶解性ﾏﾝｶﾞﾝ | mg/L | ＜0.01 | 10 |
| クロム含有量 | mg/L | ＜0.1 | 2 |
| ふっ素及びその化合物 | mg/L | ＜0.1 | 8 |
| ほう素及びその化合物 | mg/L | ＜0.1 | 10 |
| ｱﾝﾓﾆｱ、ｱﾝﾓﾆｳﾑ化合物、亜硝酸化合物及び硝酸化合物 | mg/L | 11.0 | 100 |
| 1,4-ジオキサン | mg/L | ＜0.05 | 0.5 |

### 3) 維持管理業務について

9 月に行った運転管理の実績表を添付した。

**表 5-11　終末処理場の運転管理実績表（R4 年 9 月）**

須崎市終末処理場　　令和　4　年　9　月　運転管理実施表

| 項目 | 日・曜日 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 | 29 | 30 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 木 | 金 | 土 | 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | |
| 機器運転 | 機器点検 | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | |
| | 運転日報 | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | |
| | 汚泥処理・脱水機運転 | | ● | | | | ● | | | ● | | | | ● | | | ● | | | | ● | | | ● | | | | ● | | | ● | | |
| | 脱水ケーキ搬出 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 電気点検 | 電気点検 | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | |
| | 汚水ﾏﾝﾎｰﾙ室ﾌﾗｯｼﾝｸﾞ<br>非常通報装置点検 | ● | | | | | | | ● | | | | | | | ● | | | | | | | ● | | | | | | | ● | | |
| 機械 | 点検/グリスアップ/清掃<br>○ 処理棟各機器<br>□ 補機室各機器 | | | | | | | ● | | | | | | | ● | | | | | | | ● | | | | | | ● | | | |
| | スクリーンユニット<br>(スカラベ)点検 | ● | ● | | | ● | ● | ● | ● | ● | | | ● | ● | ● | ● | ● | | | ● | ● | ● | ● | ● | | | ● | ● | ● | ● | ● | |
| | 汚水スクリーン点検<br>し渣脱水機点検 | ● | | | | | | | ● | | | | | | | | | | | | ● | | | | | | | | | ● | | |
| | DHSヘッダー管分解清掃 | | | | | | | | | ● | | | | | | | | | | | | | | | | | ● | | | | | |
| | DHSろ床散水、清掃 | | | | | | | ● | | | | | | | ● | | | | | | ● | | | | | | | | | | | |
| | 自動分析計　○ DHSろ床処理水<br>分解洗浄　□ 生物膜ろ過処理 | | | | | | | | | | | | | | ■ | | | | | | ● | | | | | | ● | | | ■ | | |
| | ○ DHSろ床排風ダクト清掃<br>□ 生物ろ過膜槽ｱﾝｽﾗｻｲﾄ投入 | | ● | | | | | | | | | | | | | | | | | | | ● | | | | | | | | ● | | |
| | DHSろ床排気ﾌｧﾝ除塵ｽｸﾘｰﾝ点検 | | | | | ● | | | | | | | ● | | | | | | | | | ● | | | | | ● | | | | | |
| | 固形塩素注入器　点検、補充 | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | |
| 水質分析 | 平常試験 | | | | | | | | | | | | | | ● | | | | | | | ● | | | | | | | ● | | | |
| | 中試験 | | | | | | | ● | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 濃縮脱水試験　（月に1回、　中試験と重複しない） | | ● | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 備考 | ・濃縮脱水試験は、月毎に1度実施する。供給汚泥濃度、脱水ケーキ含水率は、脱水時毎回実施。<br>・DHSろ床散水ヘッダー管分解清掃は、週2回、適宜汚れ具合で実施する。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

※1：9 月の脱水ケーキ発生量は 2,964 ㎏で、住友大阪セメントへの搬出はなし。

※2：その他、脱水機点検、処理棟各機器点検等を実施（別途 9 月作業実施表参照）

### 4) 機器の点検結果による考察

・9/14 に修繕費にて水質測定器ＤＯ計交換修繕を実施した所、表示機への測定値表示が復旧した。メーカー見解では、今後も 8～10 年程度ごとに交換が必要となるとのこと。

・生物膜ろ過槽移送ポンプの吐出量が設定値 0.48$m^3$/min に対し 0.45$m^3$/min と若干低下している。ポンプ能力の低下か配管側の原因か判明していないため、引続き調査を行うものとする。

・汚泥供給ポンプは長期間整備が実施されていない状況となっている。本ポンプにおいてもポンプ構造から、し渣絡みが発生している可能性があり整備実施が望まれる。ただし、製造元からモータ部は既に製造が終了しているとの連絡があり、ポンプ一式更新となる可能性がある。

・NO.1・2 ろ過水ポンプのグランド部から水漏れが発生している。メーカーによる点検、補修を推奨する。

上記点検結果を踏まえ、修繕推奨機器リストを添付した。

## 表 5-12　修繕推奨機器リスト（須崎市終末処理場）

| 委託業務の名称 | 令和４年度　須崎市終末処理場運転維持管理等包括的民間委託業務　修繕推奨項目 | | | | 2022年10月7日改定 | 1/1 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 提案日 | 件数 | 緊急度 | 対象箇所 | 推　奨　内　容 | 完了日 | 備　　考 |
| 令和３年10月　6日 | 1 | A | 汚泥供給ポンプ | 分解整備 | | (04-05)汚泥供給ポンプ整備 |
| 令和４年８月　2日 | 2 | A | ＤＯ計（本体部） | 交換 | 令和4年9月14日 | (04-06)水質測定器ＤＯ計交換修繕 |
| 令和３年２月１８日 | 3 | B | No.１、２ろ過水ポンプ | 本体更新　電動機整備 | | 実施は２台のうち１台 |
| 備　　考 | **緊急度の判定基準**<br>Ｓ　：　不具合を生じている、または生じる可能性が高く代替機器等がないため早急に実施を要求するもの<br>Ａ　：　不具合の可能性があり、水処理・汚水処理に対する影響が大きく１年以内を目処に実施を要求するもの<br>Ｂ　：　水処理・汚泥処理に対する影響があり、今後２～３年以内に実施を要求するもの<br>Ｃ　：　直ちに水処理・汚泥処理に影響する可能性が低く、５年程度内に実施を要求するもの | | | | | |

## 5.4 クリーンセンター横浪

### 1) 浸出水処理施設の処理水量の状況

9 月の処理水量は下図の通りである。（日平均値：160m³/日、日最大値：173m³/日）

9 月の降雨量が 8 月に比べ大幅に増加したため、月間を通してほぼ処理能力に近い処理水量となった。

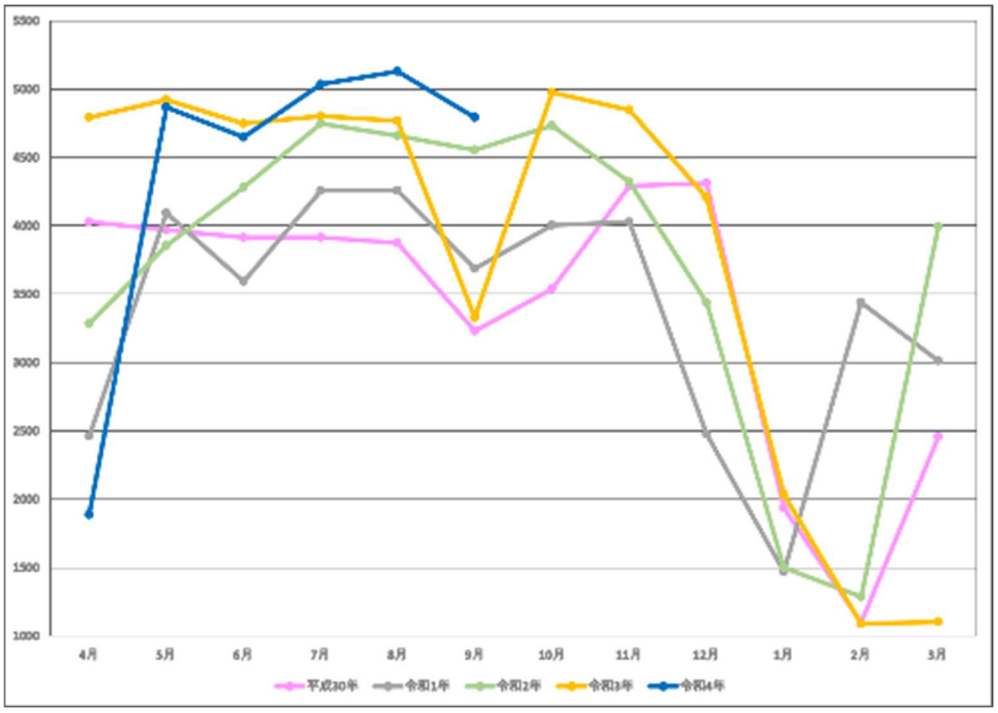


図 5-8　浸出水処理施設の処理水量の推移

### 2) 浸出水処理施設の放流水質の状況

毎月 1 回の水質検査結果は下表の通りであり、全項目について基準値を満足している。

表 5-13　浸出水処理施設の放流水質の試験結果

| 水質項目 | 単位 | 水質試験結果 | 排水基準値 |
|---|---|---|---|
| pH | － | 7.4 | 5.8 以上 8.6 以下 |
| BOD | ｍｇ／Ｌ | ＜0.5 | 20ｍｇ／Ｌ以下 |
| COD | ｍｇ／Ｌ | 3.1 | 20ｍｇ／Ｌ以下 |
| SS | ｍｇ／Ｌ | ＜1 | 20ｍｇ／Ｌ以下 |
| T-N | ｍｇ／Ｌ | 5.1 | 20ｍｇ／Ｌ以下 |

※同時に原水のカルシウム、地下水の塩化物イオン濃度も測定しており、問題の無い値となっている。

### 3) リサイクルプラザの維持管理業務について

9月に行った運転管理実績表を添付した。なお、令和4年6月1日の破砕機付近における火災発生時から、不燃粗大ごみ処理ラインは停止しており、引き続き搬入された不燃粗大ごみは埋立処分場に仮置きされている状況となっている。

表 5-14　リサイクルプラザ 運転管理実績表（R4 年 9 月）

**令和　4　年　9　月　　運転管理実施表**

| 日・曜日 / 項目 | | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 | 29 | 30 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 木 | 金 | 土 | 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | |
| 機器運転 | 運転日報 | ● | ● | | | ● | ● | ● | ● | ● | | | ● | ● | ● | ● | ● | | | | ● | ● | ● | | | | ● | ● | ● | ● | ● | |
| | 機器始業前点検 | ● | ● | | | ● | ● | ● | ● | ● | | | ● | ● | ● | ● | ● | | | | ● | ● | ● | | | | ● | ● | ● | ● | ● | |
| | 破砕機運転 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 不燃ごみ処理 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 資源ごみ(瓶・缶・PET)処理 | ● | ● | | | ● | ● | ● | ● | ● | | | ● | ● | ● | ● | ● | | | | ● | ● | ● | | | | ● | ● | ● | ● | ● | |
| 埋立 | 敷き均し、転圧 | | | | | | | | | | | | | | ● | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 覆土受入 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 質分 | 水質分析採水 | | | | | | | | | | | | | | | ● | | | | | | | | | | | | | | | | |
| その他 | 場内外清掃 | ● | ● | | | ● | ● | ● | ● | ● | | | ● | ● | ● | ● | ● | | | | ● | ● | ● | | | | ● | ● | ● | ● | ● | |
| | 場内外除草 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | ● | | | | | | | | | | | |
| | 未取集ごみ回収 | | | | | ● | | | | | | | | | | | | | | | ● | | | | | | | | | | | |

### 4) リサイクルプラザの点検結果による考察

令和3年度に行われた精密機能検査結果を基に推奨機器リストを整理した。今後、破砕機周辺の損傷部分等が明らかにされた場合には、修繕内容、優先度が変更となる可能性がある。

表 5-15　修繕推奨機器リスト（リサイクルプラザ）

| 委託業務の名称 | 令和４年度　須崎市クリーンセンター横浪運転維持管理等包括的民間委託業務<br>リサイクルプラザ　修繕推奨項目 | | | | 2022年10月3日改定 1/2 |
|---|---|---|---|---|---|
| 提案日 | 件数 | 緊急度 | 対象箇所 | 推　奨　内　容 | 完了日 | 備　　考 |
| 令和2年12月23日 | 1 | S | 空気圧縮機（ｺﾝﾌﾟﾚｯｻｰ） | 更新 | | 油漏れ　8/2～運転不能 |
| 令和2年12月23日 | 2 | S | エアドライヤー | 更新 | | 動作不良 |
| 令和4年1月19日 | 3 | S | 不燃ごみ供給コンベヤ | チェーン、エプロン更新 | | 老朽化（腐食、穴あき等） |
| 令和4年1月19日 | 4 | S | 1F東側建物シャッター | 更新（防犯、防風上） | | シャッター変形、動作不良（R4年度予定） |
| 令和4年1月19日 | 5 | S | 低圧配電設備（低圧動力盤） | インバーター更新 | | 不燃物供給コンベヤのインバーターが旧式 |
| 令和4年1月19日 | 6 | S | スチール缶圧縮機動力操作盤 | PLC更新 | | PLCが旧型 |
| 令和4年1月19日 | 7 | S | アルミ缶圧縮機動力操作盤 | PLC更新 | | PLCが旧型 |
| 令和3年3月23日 | 8 | S | 給水ポンプユニット | 更新 | | 老朽化（要後継機選定） |
| 令和2年12月23日 | 9 | A | 資源受入れC/V減速機 | 更新 | | 油漏れ、異音 |
| 令和2年12月23日 | 10 | A | 手選別受入れC/V減速機 | 更新 | | 油漏れ、異音 |
| 令和4年1月19日 | 11 | A | 選別スクリーン | スクリーン清掃、入出口、パッチ当補修 | | 老朽化（腐食、穴あき等） |
| 令和4年1月19日 | 12 | A | スチール缶圧縮機 | シリンダーオーバーホール等 | | シリンダ油じみ、塗装剥離等 |
| 令和4年1月19日 | 13 | A | アルミ缶圧縮機 | シリンダーオーバーホール等 | | シュート腐食、穴あき、油じみ等 |
| 令和4年1月19日 | 14 | A | PETボトル減容機 | 油圧装置、押込装置、駆動部更新 | | 老朽化（ケーシング、ベアリング腐食等） |
| 令和4年1月19日 | 15 | A | 地下床排ポンプ吐出管 | 配管サポート追加 | | 吐出管サポート不足 |
| 令和4年1月19日 | 16 | A | 不燃ごみ用磁選機 | ベルト更新 | | ベルト偏芯、ローラー軸等発錆 |
| 令和4年1月19日 | 17 | A | 不燃ごみ用アルミ選別機 | Ｖベルト、プーリー更新 | | Ｖベルト端部破損、プーリー摩耗等 |
| 令和4年1月19日 | 18 | A | カン類用磁選機 | ベルト更新 | | ベルト偏芯、表面クラック等 |
| 令和4年1月19日 | 19 | A | 手選別コンベヤ | ベルト、アルミシュート更新等 | | ベルト偏芯、減速機駆動音異常等 |
| 令和4年1月19日 | 20 | A | 不燃物貯留バンカ | シュート、集塵ダクト更新等 | | 腐食、穴あき、シリンダー支持部老朽化等 |
| 令和4年1月19日 | 21 | A | 地下資源ゴミ供給コンベヤピット | ダクト吸込口更新 | | 吸込ダクト入口腐食 |
| 令和4年1月19日 | 22 | A | 2F選別室バグフィルター | ダクトエルボ更新 | | 吐出ダクトエルボ発錆 |
| 令和4年1月19日 | 23 | A | 処理水・汚泥系 | 配管サポート追加 | | 床排水ポンプ配管サポート不足 |
| 令和4年1月19日 | 24 | B | その他プラスチック減容機 | 軸受け更新 | | 回転軸からの異音 |
| 令和4年1月19日 | 25 | B | 不燃ゴミ受入ホッパ | 腐食部補修、塗装 | | ホッパ側面下端腐食、穴あき等 |
| 令和4年1月19日 | 26 | B | 資源ごみ受入ホッパ | 腐食部補修、塗装 | | 内面ゴムライニング破損等 |
| 令和4年1月19日 | 27 | B | 資源ゴミ供給コンベヤ | 底面補修、シュート部更新 | | 腐食、穴あき等 |
| 令和4年1月19日 | 28 | B | 破砕機 | 歩廊チェッカープレート、溶接ナット取替 | | 歩廊発錆、歪み等 |
| 令和4年1月19日 | 29 | B | No.2破砕物コンベヤ | 底面パネル更新、点検口パッキン設置 | | 腐食、穴あき等 |
| 令和4年1月19日 | 30 | B | バグフィルタ | 外面塗装補修 | | 天板腐食等 |
| 令和4年1月19日 | 31 | B | No.1・2プラント揚水ポンプ | ユニット更新 | | 接続短管腐食、ケーシング発錆等 |
| 備　　考 | **緊急度の判定基準**<br>Ｓ：不具合を生じている、または生じる可能性が高く代替機器等がないため早急に実施を要求するもの<br>Ａ：不具合の可能性があり、水処理・汚水処理に対する影響が大きく１年以内を目処に実施を要求するもの<br>Ｂ：水処理・汚泥処理に対する影響があり、今後２～３年以内に実施を要求するもの<br>Ｃ：直ちに水処理・汚泥処理に影響する可能性が低く、５年程度内に実施を要求するもの | | | | |

### 5) 浸出水処理施設の維持管理業務について

9 月に行った運転管理の実績表を添付した。

表 5-16　浸出水処理施設 運転管理実績表（R4 年 9 月）

令和　4　年　9　月　　運転管理実施表

| | 日・曜日 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 | 29 | 30 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 項目 | 木 | 金 | 土 | 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | |
| 機器運転 | 運転日誌 | ● | ● | | | ● | | ● | ● | ● | | | ● | | ● | | ● | | | ● | | ● | | ● | | | ● | | ● | | ● | |
| | 機器点検日誌 | | | | | | | ● | | | | | ● | | | | | | | ● | | | | | | | ● | | | | | |
| | 第一モニタリング井戸ポンプ 自動運転 開始 | | | | | ● | | | | | | | ● | | | | | | | ● | | | | | | | ● | | | | | |
| | 第一モニタリング井戸ポンプ 自動運転 停止 | | ● | | | | | | | ● | | | | | | | ● | | | | | | | ● | | | | | | | ● | |
| | 第一凝集沈殿槽汚泥引抜ポンプ手動運転(5分) | | | | | | | ● | | | | | ● | | | | | | | ● | | | | | | | ● | | | | | |
| | 機器切替 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | ● | | | | | |
| | 非常放流各弁開閉(遮断弁・仕切弁・調整槽上部 | ● | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 固形塩素注入器　点検、補充 | | ● | | | ● | | | | ● | | | ● | | | | ● | | | ● | | | | ● | | | ● | | | | ● | |
| | 凝集助剤溶解装置 ストレーナ分解清掃 | | | | | | | ● | | | | | | | | | | | | | | | | | | | ● | | | | | |
| 水質分析 | 水質分析週報 | | | | | | | | | ● | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 水質分析月報 | | | | | | | | | | | | | | | | ● | | | | | | | | | | | | | | | |
| | pH計点検 | | ● | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | ● | | | | | | | | |
| | 第一混和槽他pH計洗浄 | ● | | | | | | ● | | ● | | | ● | | ● | | | | | ● | | ● | | | | | ● | | | | | |
| その他 | 遮水シート確認 | | | | | | | ● | | | | | ● | | | | | | | ● | | | | | | | ● | | | | | |
| | 汚泥貯留槽水抜き | ● | | | | | | | ● | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | ● | |
| | 場内外清掃 | | ● | | | | | ● | ● | ● | | | ● | | ● | | | | | | | ● | | | | | ● | | | | ● | |
| | 場内外草刈 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | ● | | | | | | | | | | |

### 6) 浸出水処理施設の点検結果による考察

・9 月の降雨量は 8 月に比べ大幅に増加したため、第 2 調整槽水位が中間程度まであり、月間を通してほぼ処理能力に近い処理となった。

・原水槽フリクトスイッチの劣化進行が懸念されている。概ね製品寿命であると考えられることから早期の交換が望まれる。

・給排水設備プラント用水給水ユニット受水槽の老朽化が懸念される。これまでの水漏れ箇所は仮補修しているが、槽全体の劣化が進行しているため、早期の受水槽更新が望まれる。

・日報作成装置が故障しておりデータ収集ができなくなっているため、早期の復旧が望まれる。

・日報作成装置 UPS（無停電電源装置）はバッテリー寿命と判断され、停電発生時の不具合回避のため早急なバッテリー交換を推奨する。ただし、使用開始から 10 年が経過していることから、本体を含めた交換が妥当であると判断される。

・遮水シート漏水監視システム電極切替器の液晶表示部に複数のライン抜けがあり、システム全体に不具合がある可能性があるため、メーカーによる機能診断の実施を推奨する。

・令和 2 年 11 月に No.1 第三調整槽水中攪拌機、令和 3 年 12 月に No.1 第二調整槽水中攪拌機に故障が発生し運転ができなくなっているため、早期復旧が望まれる。

・砂ろ過塔及び活性炭吸着塔の弁体は、これまで交換履歴が無く、故障発生の場合に適正な水処理ができなくなるため、動作不良に至る前に電磁弁と合わせての交換を推奨する。

・コンプレッサーは前回整備時から約 6 年が経過している。ベアリング等の摩耗が進行してい

ると推測されることから、早期の分解整備及び除湿器の更新も実施することが望まれる。

・No.1、2 返送ポンプの仕切弁が損傷し、スムーズに作動出来なくなっているため、交換を推奨する。

・No.2 凝集剤注入ポンプは運転頻度が高く、これまでの運転状況から各部の摩耗、劣化が懸念される。故障発生等により運転停止となった場合には、水処理に影響を及ぼす可能性があるため更新を推奨する。

・場内６か所の現場ｐＨ計（表示部・変換器）の老朽化が顕著となっており、これまで一部の部品を除き更新履歴が無く、適正な水処理を行う上で重要な機器であるため、順次更新していくことを推奨する。

上記点検結果を踏まえ、修繕推奨機器リストを作成した。

表 5-17　修繕推奨機器リスト（浸出水処理施設）

| 委託業務の名称 | 令和４年度　須崎市クリーンセンター横浪運転維持管理等包括的民間委託業務　修繕推奨項目 | | | | | ２０２２年１０月７日改定 | 1/1 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 提案日 | 件数 | 緊急度 | 対象箇所 | 推　奨　内　容 | 完了日 | 備　　考 | |
| 令和２年５月２０日 | 1 | S | 日報作成装置 | 不良箇所修理（システム更新） | | 令和５年度修繕予定 | |
| 令和２年11月２０日 | 2 | A | 給水ユニット受水槽 | 更新 | | | |
| 令和４年１月　５日 | 3 | A | No.１第二調整槽水中撹拌機 | 更新 | | | |
| 令和４年２月　８日 | 4 | A | No.１第三調整槽水中撹拌機 | 更新 | | | |
| 令和２年６月２１日 | 5 | A | 遮水シート漏水監視システム | 機能診断（機器作動状況点検） | | 令和４年度リプレース予定 | |
| 令和３年１１月８日 | 6 | A | 水槽内フリクトスイッチ | 交換 | | | |
| 令和３年１１月８日 | 7 | A | 無停電電源装置 | 更新 | | | |
| 令和３年１１月８日 | 8 | A | 砂ろ過塔電磁弁/弁体 | 交換 | | | |
| 令和３年１１月８日 | 9 | A | 活性炭塔電磁弁/弁体 | 交換 | | | |
| 令和３年１１月８日 | 10 | A | コンプレッサー | 更新/分解整備 | | | |
| 令和２年５月２０日 | 11 | B | No.２凝集助剤注入ポンプ | 更新 | | | |
| 令和２年５月２０日 | 12 | B | No.１・２返送ポンプ仕切弁 | 交換 | | | |
| 令和３年１１月８日 | 13 | B | 除湿器 | 更新 | | コンプレッサー付帯設備 | |
| 令和４年１０月７日 | 14 | B | 現場ｐＨ計 | 更新 | | 表示部・変換器　計６箇所 | |
| 備　　考 | **緊急度の判定基準**<br>Ｓ　：　不具合を生じている、または生じる可能性が高く代替機器等がないため早急に実施を要求するもの<br>Ａ　：　不具合の可能性があり、水処理・汚水処理に対する影響が大きく１年以内を目処に実施を要求するもの<br>Ｂ　：　水処理・汚泥処理に対する影響があり、今後２～３年以内に実施を要求するもの<br>Ｃ　：　直ちに水処理・汚泥処理に影響する可能性が低く、５年程度内に実施を要求するもの | | | | | | |

## 5.5 漁業集落排水処理施設

### 1) 今月の保守点検について

5 地区の対象施設の内、戸島地区を除く 4 地区は 9 月 10 日、24 日に維持管理を行った。また、戸島地区については 9 月 24 日に保守点検を行った。毎月の保守点検内容は、要求水準書に定められている項目を実施し、後段に添付のチェックリストにより確認を行った。

■要求水準書の浄化槽の点検項目（毎月）

・浄化槽の維持管理（水質管理、機械管理、配管管理）

・浄化槽への薬剤投入

・中継ポンプ場の維持管理

・機器消耗品、油脂の管理

主要な点検結果は以下の通りである。

表 5-18　点検結果表

| 項目 | 点検日 | 池ノ浦 | 白浜 | 蜂ヶ尻 | 中ノ島 | 戸島 | 備考（適正値等） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 放流水<br>透視度（cm） | 9月10日 | 30 | 30 | 30 | 30 | － | 20cm以上 |
| | 9月24日 | 30 | 30 | 30 | 30 | 30 | |
| ばっ気槽<br>溶存酸素（DO） | 9月10日 | ○ | ○ | ○ | ○ | － | 1.0mg／L以上 |
| | 9月24日 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| 放流水　pH | 9月10日 | 6.0 | 6.6 | 6.5 | 6.8 | － | 5.8～8.3 |
| | 9月24日 | 5.8 | 6.2 | 6.8 | 6.7 | 6.0 | |
| 消毒薬投入量 | 9月10日 | 有 | 0.5 | 0.5 | 有 | － | |
| | 9月24日 | 0.5 | 有 | 0.5 | 0.5 | 0.5 | |

## 表 5-19　電流値の測定結果

| 機器名 | 点検日 | 池ノ浦 | 白浜 | 蜂ヶ尻 | 中ノ島 | 戸島 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 原水ポンプ定格電流値 | | 4.0 | 2.1 | 2.3 | 2.6 | 2.3 |
| 原水ポンプ　No.1 | 9月10日 | 2.8 | 1.8 | 1.2 | 1.8 | － |
| | 9月24日 | 2.8 | 1.8 | 1.4 | 1.8 | 1.8 |
| 原水ポンプ　No.2 | 9月10日 | 2.8 | 1.8 | 1.2 | 1.8 | － |
| | 9月24日 | 2.8 | 1.8 | 1.2 | 1.8 | 1.8 |
| 調整ポンプ定格電流値 | | 2.2 | 1.5 | 1.2 | 1.7 | 1.3 |
| 調整ポンプ　No.1 | 9月10日 | 1.8 | 1.0 | 1.0 | 1.0 | － |
| | 9月24日 | 1.8 | 1.0 | 1.1 | 1.0 | 1.0 |
| 調整ポンプ　No.2 | 9月10日 | 1.8 | 1.0 | 1.0 | 1.0 | － |
| | 9月24日 | 1.8 | 1.0 | 1.1 | 1.0 | 1.0 |
| 放流ポンプ定格電流値 | | 6.4 | 1.6 | 1.6 | 1.7 | 1.6 |
| 放流ポンプ No.1 | 9月10日 | 5.8 | 1.2 | 1.2 | 1.0 | － |
| | 9月24日 | 5.8 | 1.2 | 1.2 | 1.0 | 1.5 |
| 放流ポンプ No.2 | 9月10日 | 6.0 | 1.2 | 1.2 | 1.0 | － |
| | 9月24日 | 5.8 | 1.2 | 1.2 | 1.0 | 1.5 |
| 中継ポンプ定格電流値 | | | | 5.8 | 6.8 | 6.8 |
| 中継ポンプ No.1 | 9月10日 | － | | 5.8 | 5.5 | － |
| | 9月24日 | － | | 5.8 | 5.6 | 故障中 |
| 中継ポンプ No.2 | 9月10日 | － | | 5.8 | 5.6 | － |
| | 9月24日 | － | | 6.0 | 5.5 | 5.6 |
| ばっ気槽ブロアー定格電流値 | | 8.4 | 3.0 | 6.0 | 6.0 | 3.0 |
| ばっ気槽ブロアー No.1 | 9月10日 | 8.6 | 1.9 | 3.6 | 3.2 | － |
| | 9月24日 | 8.8 | 2.0 | 3.6 | 3.0 | 2.5 |
| ばっ気槽ブロアー No.2 | 9月10日 | 8.8 | 1.9 | 3.8 | 3.4 | － |
| | 9月24日 | 8.9 | 1.8 | 3.8 | 3.2 | 2.5 |
| 調整ブロアー定格電流値 | | 6.0 | 1.6 | 1.8 | 1.8 | 1.6 |
| 調整ブロアー | 9月10日 | 3.0 | 1.2 | 1.5 | 1.5 | － |
| | 9月24日 | 3.2 | 1.2 | 1.5 | 1.5 | 1.9 |

### 2)　機器の点検結果による考察

以下に、処理施設における点検及び故障による修繕推奨機器リストを添付した。

9/26 に中ノ島地区処理施設に隣接する公衆トイレ横洗い場の水栓取替を行った。

現在、池ノ浦処理施設の操作電源ブレーカー自動通報装置、戸島地区中継ポンプの見積りについて手配中である。

## 表 5-20　修繕推奨機器リスト（漁業集落排水処理施設）

| 委託業務の名称 | 須崎市漁業集落排水処理施設<br>修繕推奨項目 | | | | 2022年10月7日改定 | 1/1 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 提案日 | 件数 | 緊急度 | 対象箇所 | 推　奨　内　容 | 完了日 | 備　　考 |
| 令和2年4月 6日 | 1 | S | 白浜地区処理施設 | 放流ポンプ、フロートスイッチ交換 | 令和2年4月16日 | 動作不良（老朽化） |
| 令和3年1月15日 | 2 | S | 蜂ヶ尻地区処理施設 | フロートスイッチ交換 | 令和3年1月21日 | 動作不良（老朽化） |
| 令和3年4月27日 | 3 | S | 戸島地区中継ポンプ場 | フロートスイッチ交換 | 令和3年5月 2日 | 動作不良（老朽化） |
| 令和3年7月12日 | 4 | S | 池ノ浦処理施設 | 電線ケーブル配管更新 | 令和3年10月8日 | 電線収納配管より水漏れ |
| 令和3年10月6日 | 5 | S | 白浜処理施設 | Ｎo.1ブロワー交換 | 令和3年11月19日 | 動作不良（老朽化） |
| 令和3年10月23日 | 6 | S | 中ノ島地区中継ポンプ場 | フロートスイッチ交換 | 令和3年12月4日 | 動作不良（老朽化） |
| 令和3年11月8日 | 7 | A | 池ノ浦処理施設 | ブロワーオーバーホール、原水槽フロートスイッチ交換 | 令和3年12月23日 | 動作不良（老朽化） |
| 令和2年2月15日 | 8 | A | 中ノ島地区処理施設 | 配管修繕 | 令和4年1月31日 | 配管破損（老朽化）調整ポンプ槽から沈殿分離槽までの配管 |
| 令和4年2月8日 | 9 | S | 戸島地区処理施設 | ブロワータイマースイッチ交換 | 令和4年5月28日 | 動作不良（老朽化） |
| 令和4年7月4日 | 10 | S | 池ノ浦処理施設 | 操作電源ブレーカーの自動通報装置 | | 機能追加 |
| 令和4年7月23日 | 11 | S | 蜂ヶ尻地区処理施設 | マンホールポンプフロートスイッチ交換 | 令和4年7月28日 | 動作不良（老朽化） |
| 令和3年1月15日 | 12 | A | 蜂ヶ尻地区処理施設 | パトライト | | 回転不良（点灯正常） |
| 令和4年7月12日 | 13 | A | 戸島地区中継ポンプ場 | ポンプ本体 | | 動作不良（老朽化） |
| 令和4年7月12日 | 14 | A | 戸島地区処理施設 | 放流槽フロートスイッチ交換 | | 動作不良（老朽化） |
| 令和4年9月6日 | 15 | S | 中ノ島地区処理施設 | 処理施設横洗い場水栓交換 | 令和4年9月26日 | 動作不良（老朽化） |
| 備　　考 | **緊急度の判定基準**<br>Ｓ ： 不具合を生じている、または生じる可能性が高く代替機器等がないため早急に実施を要求するもの<br>Ａ ： 不具合の可能性があり、水処理・汚水処理に対する影響が大きく１年以内を目処に実施を要求するもの<br>Ｂ ： 水処理・汚泥処理に対する影響があり、今後２～３年以内に実施を要求するもの<br>Ｃ ： 直ちに水処理・汚泥処理に影響する可能性が低く、５年程度内に実施を要求するもの | | | | | |

## 5.6 雨水ポンプ場

### 1) 今月の保守点検について

下表のとおりの日程で、各施設の維持管理を行った。

毎月の保守点検内容は、要求水準書（または業務特記仕様書）に準じて行い、後段に添付のチェックリストにより確認を行った。

表 5-21 点検実施日（9 月）

| 機場名 | 月点検 | 週点検 | 週点検 | 補機点検 |
|---|---|---|---|---|
| 大間ポンプ場 | ２２日 | ９日 | ２８日 | ５日 |
| 公共ポンプ場 | ２８日 | ５日 | ２２日 | ９日 |
| 須崎ポンプ場 | ２日 | ６日 | ２７日 | １２日 |
| 西部ポンプ場 | ５日 | １日 | １２日 | ２７日 |
| 浜町ポンプ場 | １日 | | | |

表 5-22 各ポンプ場燃料貯蔵状況（9 月）

| 貯蔵量 / 機場名 | 貯蔵容量 | 8月 | | 9月（今月） | | 燃料増減計測日 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 屋外タンク（KL） | 屋内タンク（L） | 屋外タンク（KL） | 屋内タンク（L） | 屋外タンク（KL） | 屋外タンク（KL） |
| 大間ポンプ場 | 10 | 580 | 9.3 | 580 | 9.2 | 0.1<br>9月28日 |
| 公共ポンプ場 | 20 | 820×2 | 4.5 | 820×2 | 4.4 | 0.1<br>9月28日 |
| 須崎ポンプ場 | 10 | 660 | 8.8 | 510 | 8.5 | 0.3<br>9月27日 |
| 西部ポンプ場 | 5 | 520 | 3.0 | 550 | 2.9 | 0.1<br>9月27日 |
| 浜町ポンプ場<br>（自家発電機） | 390L | 380 | | 380 | | 0.0<br>9月1日 |

*燃料増減は、月点検時の屋外燃料タンク増減量のみの数値

（黒－増　赤－減）

## 2) 修繕推奨項目表

9 月の点検結果から作成した修繕推奨機器リストを以下に添付した。

### 表 5-23　修繕推奨機器リスト（各雨水ポンプ場）

機場名　大間ポンプ場

| 機器名 | 番号 | 不良内容 | 重要度 | 機能 | 外観 |
|---|---|---|---|---|---|
| 原動機 | ① | No.3 排気温度のバランス不良有り。燃料噴射ポンプ調整必要です。 | B | ○ | |
| 自家発 | ② | 排気温度のバランス不良有り。燃料噴射ポンプ調整必要です。 | B | ○ | |
| | ③ | 温度計故障あり。交換が必要です。 | B | ○ | |
| 吐出弁 | ④ | No.3 開時、異音あり。グリス交換時期です。 | C | ○ | |
| 放流ゲート | ⑤ | 放流ゲートプルボックスに腐食、破損あり。修繕が必要です。 | B | ○ | |
| 冷却水ポンプ | ⑥ | No.1絶縁が低下しています。 No.1 90MΩ No.2 40MΩ No.3 100MΩ | B | ○ | |
| 床排出ポンプ | ⑦ | 絶縁抵抗測定値。 No.1 12MΩ No.2 12MΩ | B | ○ | |

機場名　公共ポンプ場

| 機器名 | 番号 | 不良内容 | 重要度 | 機能 | 外観 |
|---|---|---|---|---|---|
| 原動機 | ① | No.3 排気温度のバランス不良あり。燃料噴射ポンプ調整が必要です。 | B | ○ | |
| | ② | No.2・3 温調弁固着あり。分解整備が必要です。 | B | ○ | |
| 吐出弁 | ③ | 吐出井水位計故障あり。腐食に対応した新規水位計の設置が必要です。 | B | ○ | |
| 放流ゲート | ④ | No.1・2 放流ゲート故障あり。修理が必要です。 | B | ○ | |
| ポンプ | ⑤ | No.2 電動ポンプ軸受部、錆多し。修理が必要です。 | B | ○ | |
| 空気槽 | ⑥ | No.3 空気槽ドレン抜き弁固着あり。修理が必要です。 | B | ○ | |
| 冷却水ポンプ | ⑦ | 絶縁抵抗測定値。No.3 100MΩ No.4 60MΩ 予備 80MΩ | B | ○ | |
| 高架揚水ポンプ | ⑧ | 絶縁が低下しています。No.1 0.3MΩ No.2 5MΩ | A | ○ | |
| し渣スキップホイスト | ⑨ | 故障、動作不良あり。調査、修理が必要です。 | C | ○ | |

機場名　須崎ポンプ

| 機器名 | 番号 | 不良内容 | 重要度 | 機能 | 外観 |
|---|---|---|---|---|---|
| 外部設備 | ① | 除塵機、沈砂掻揚機共にチェーン発錆あり。塗装（取替）の必要です。 | C | ○ | |
| 放流ゲート | ② | 故障 動作不良有り。修繕必要です。 | B | ○ | |
| 原動機 | ③ | No.2 温調弁 一部固着あり。分解整備が必要です。 | B | ○ | |
| | ④ | No.2 過給機吸込フィルター消失。部品手配取付けが必要です。 | A | ○ | |
| 吐出弁 | ⑤ | No.2 運転時、異音あり。グリス交換時期です。 | C | ○ | |
| 冷却水ポンプ | ⑥ | 絶縁抵抗測定値。 No.1 100MΩ No.2 100MΩ No.3 100MΩ | C | ○ | |
| 床排水ポンプ | ⑦ | 絶縁が低下しています。 No.1 20MΩ No.2 12MΩ | C | ○ | |
| 沈砂掻揚機 | ⑧ | No.1チェーンが破断一部脱落しており運転不能です。既設撤去、更新が必要です。 | S | ○ | |
| | ⑨ | No.2チェーン連結ピン1本切断しており運転不能です。更新が必要です。 | S | ○ | |

機場名　西部ポンプ場

| 機器名 | 番号 | 不良内容 | 重要度 | 機能 | 外観 |
|---|---|---|---|---|---|
| 吐出弁 | ① | No.4 運転時、異音あり。グリス交換時期です。 | C | ○ | |
| 原動機 | ② | No.1・3 温調弁固着あり。分解整備が必要です。 | B | ○ | |
| | ③ | No.2 給気圧計故障あり。交換が必要です。 | B | ○ | |
| | ④ | No.3 温度計故障あり。交換が必要です。 | B | ○ | |
| 減速機 | ⑤ | No.2 減速機油温計故障あり。交換が必要です。 | B | ○ | |
| 電気関係 | ⑥ | 電気室1号制水扉開度指示計故障あり。交換が必要です。 | B | ○ | |
| 流入ゲート | ⑦ | No.2 流入ゲート開動作時に過トルク検知あり。整備が必要です。 | B | ○ | |
| 沈砂掻揚機 | ⑧ | 2号水中軸上下用故障ランプ点灯、砂堆積の疑いあり。整備が必要です。 | B | ○ | |
| 天井水銀灯 | ⑨ | 2灯 点灯せず。交換が必要です。 | C | | ○ |
| 沈砂水平搬出機 | ⑩ | 現場盤、電流計故障あり。交換が必要です。 | B | ○ | |
| 冷却水ポンプ | ⑪ | No.3絶縁が低下しています。 No.1 20MΩ No.2 100MΩ No.3 1.1MΩ | A | ○ | |
| 床排水ポンプ | ⑫ | 絶縁が低下しています。No.1 1.7MΩ No.2 2.0MΩ | A | ○ | |
| No.1沈砂掻揚機 | ⑬ | 駆動部サイクロ減速機が故障し運転不能です。分解設備又は更新が必要です。 | S | ○ | |

# 6 その他連絡事項

### 1) 次回会議日程

次回すさき家パートナー会議 （ 10 月度 ）の日程案を示した。